



2022 年分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

年間総取扱量 34万6千トン 前年比 17.5%減



概要

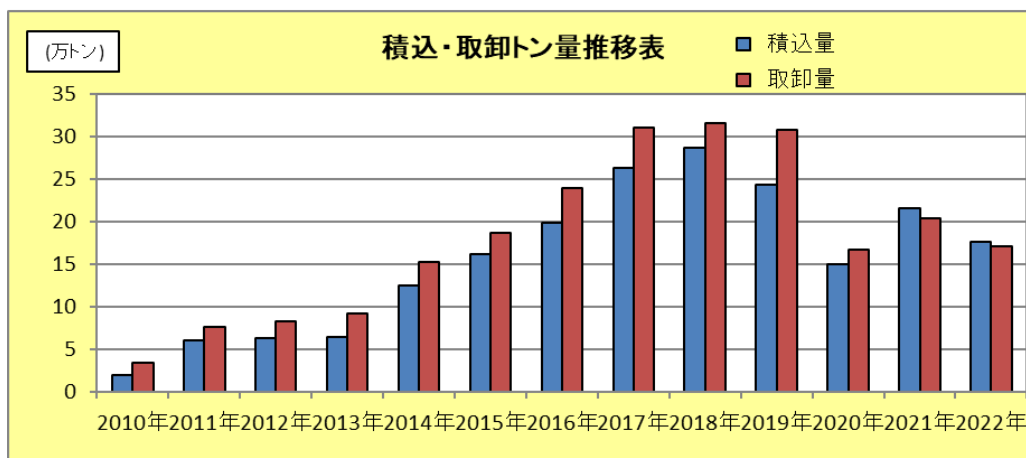
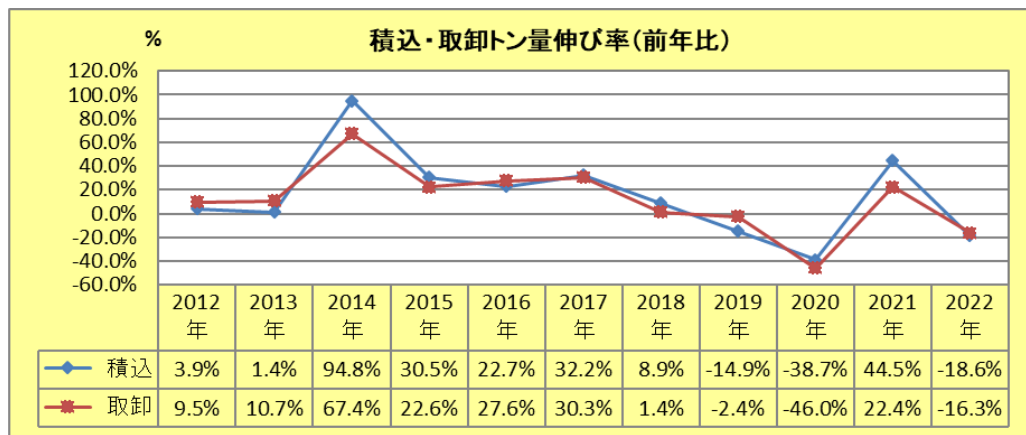
2022年の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 346,064トン(前年比 17.5%減)

積込量 175,743トン(同 18.6%減)

取卸量 170,321トン(同 16.3%減)

となり、対前年比でいずれも2年ぶりの減少となった。



※2010年10月羽田再国際化

1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（羽田税関支署）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課（TEL050-5533-6971）まで。



地域別通関動向

● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 11,696トン(前年比 10.3%減、シェア 12.1%)

その他地域通関 84,929トン(同 17.1%減、同 87.9%)

となり、対前年比でいずれも2年ぶりのマイナスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 47,877トン(前年比 17.8%減、シェア 46.1%)

その他地域通関 56,052トン(同 15.9%減、同 53.9%)

となり、対前年比でいずれも2年ぶりのマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 79,118トン(前年比 21.2%減)

取卸量 66,392トン(同 15.5%減)

となり、対前年比でいずれも2年ぶりのマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2022年の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別でみると、

生鮮貨物 10,753トン(前年比 13.4%減、シェア 22.5%)

ドライ貨物 37,124トン(同 19.0%減、同 77.5%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等27.4%(前年比6.9%減)、果物22.8%(同0.3%減)、水産物19.7%(同43.2%減)、植物(切花等)15.9%(同35.2%増)、乳製品8.3%(同27.0%減)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2022年			2021年		
	トン	前年比	構成比	トン	前年比	構成比
羽田空港輸入貨物量	47,877	82.2%	100.0%	58,270	112.3%	100.0%
生鮮	10,753	86.6%	22.5%	12,416	136.9%	21.3%
ドライ	37,124	81.0%	77.5%	45,854	107.1%	78.7%